

# 会議結果報告書

会議名	令和5年度第1回相模原市スポーツ少年団総会
日時	令和5年6月6日(火) 午後7時00分～午後8時05分
会場	相模原市民会館 3階 第1大会議室
参加者	常任委員 出席15名、委任状5名、欠席3名 定数23名 委員 出席36名、委任状74名、欠席67名 定数177名 事務局 3名(今井事業係長、内田、中島)
内容等	<p>総会に先立ち、今年度の事務局の担当者(総括:篠崎事業係長、今井事業係長、担当:中島、サブ担当:内田)を紹介した。</p> <p>事務局(今井事業係長)が司会を務め、総会を開会した。</p> <p>はじめに、近藤本部長からあいさつをいただき、定足数の確認、議長の選出(近藤本部長)を行い、議長が議事を進行した。</p> <p><b>議 事</b></p> <p>議案第1号「令和5・6年度相模原市スポーツ少年団本部役員承認について」事務局(中島)から、本部長、副本部長について再任となった旨の説明を行った。委員からは意見や質疑等はなく可決された。</p> <p>議案第2号「令和4年度事業報告及び収支決算について」及び報告第1号「令和4年度監査報告について」事務局(中島)から一括して説明を行った。委員から出た意見、質疑は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ少年団大会の収支決算について、全大会実施したにもかかわらず25万の残が出ている。備考欄に加えて説明して欲しい。<ul style="list-style-type: none"><li>→ 全大会が実施できたが、大会参加者数が少なかったため、使用しなかった会場の還付を受けたこと、賞状の作成枚数が少なかったことにより残が出ている。</li></ul></li><li>・運動適性テストⅡについて、以前、年2回実施していた体力テストのように一堂に集めて実施してもらえないか。また、測定結果を市スポーツ少年団本部でまとめて日本スポーツ少年団に提出してもらえないか。<ul style="list-style-type: none"><li>→ 運動適性テストⅡに改正され、各団で実施できるよう、実施方法の研修会を行っている。研修会に参加して、各団での指導に役立てて欲しい。</li></ul></li></ul> <p>その他、質疑等はなく承認され、議案の審議、報告は終了した。</p> <p>例年との変更点など要点の説明は以下のとおり。収支決算については備考を参照。</p> <p>○事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指導者講習会…市スポーツ協会と合同で開催した。内容は日本ペップトーク普及協会の松島斉氏に、スポーツ活動の中でペップトークを使い「やる気を引き出す言葉がけ」について講習いただいた。</li><li>・スポーツ少年団大会…4年ぶりに全ての大会を実施。水泳大会は参加が1団のため記録会としたが、12種目のスポーツ少年団大会を実施し、合計2,780人の参加となった。</li><li>・スポーツ交流事業…相模原ギオンフィールドを会場に、パラスポーツ体験をとおし</li></ul>

て厚木市スポーツ少年団とパラスポーツの関係団体の皆さんと交流をした。

- ・ハイキング…バスを使用せず、現地集合現地解散で実施し、緑区津久井の城山に登った。
- ・スキー講習会…3年ぶりの実施。会場を白樺高原国際スキー場（長野県北佐久郡）からサンメドウズ清里（山梨県北斗市）に変更した。

#### その他

○事務局（内田）から以下の事項について説明を行った。

- ・令和5年度日本・県スポーツ少年団登録について

令和5年度日本・県スポーツ少年団登録について、登録期間が4月1日から7月31日までとなっている旨の説明をした。また市の登録は6月30日までとなっており、期間内に用紙の提出も忘れないよう伝えた。

- ・指導者資格取得助成について

「令和5年度相模原市スポーツ少年団指導者資格取得助成事業要項」に沿って説明を行った。

スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会受講修了者の資格登録は、受講の翌年となるため、助成金の申請は次年度の受付となることを伝えた。

その他、委員から出た意見は以下のとおり。

- ・相模原市スポーツ協会ホームページのスポーツ少年団のページにスポーツ少年団の理念を掲載して欲しい。

→ 早急に掲載する。

- ・コロナで施設が使用できない等、団の活動も制限を受け、団員が減少し、そのダメージは大きい。

→ 5月13日（土）の若葉まつりでのスポーツ協会ブースにおいて、スポ少のPRを行ったほか、6月17日（土）にアリオ橋本で実施する『みんなでチャレンジ！わくわくスポーツフェア2023』でもスポーツ少年団のブースを出展しPRを行っていく。引き続きイベントへのPRブース出展などで、団員や少年団の理念に賛同していただける方の拡充に繋げていきたい。

- ・10月からの子どもの施設使用料が無料になる政策は個人利用に限ると聞いているが、個人で入って営利活動をしている団体が優遇されている感じがする。スポーツ推進活動をボランティアのような形で行っている団体を飛ばして、個人が無料になるのはどうなのか。活動や大会の会場使用料を先に優遇してほしい。

→ ご意見として頂戴する。働きかけていくと同時に、引き続きスポーツ少年団に登録し活動するメリットや還元できる方策を検討していく。

終わりに、樋川副本部長からあいさつをいただき閉会した。

以上